

中学年で使える活動紹介

| 活動の種類 | ねらい | 活動の説明 | 準備物 |
|---|--|---|-------------|
| <p>カルタゲーム (Slap card game)</p>  | <p>カルタを指さしたり、取ったりする様子から、英単語を正確に聞き取れているかを把握することができる。</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① 3～4人のグループを作る。 ② 机の上に児童用カードを広げる。 ③ “Hands on your head”の合図で児童は両手を頭の上にのせる。 ④ 児童が“What sports do you like?”と教師に質問する。 ⑤ 教師が“I like baseball”など単語一つ選んで発音する。 ⑥ 児童は教師の発音を聞き、3回目または、4回目に言ったものをカルタと同じ要領で取らせる。指定の回数までは、教師の後に続いて単語を発音しながら、指で押さえさせる。 | <p>絵カード</p> |
| <p>魔法のじゃんけんゲーム (Magic janken game)</p>  | <p>英語表現や英単語を用いてコミュニケーションを図れているか見ることができる。また、コミュニケーションへの意欲も把握しやすい。</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① 自由に歩き回り、出会った人と“Hello!”とあいさつをしてからじゃんけんをする。 ② じゃんけんに勝った児童は、“Good-bye”とあいさつをして別れ、そのまま動き回ることができる。 ③ 負けた児童も“Good-bye”とあいさつをして、その場にしゃがみ、“Help me!”と言って助けを求める。 ④ 勝った児童は、他の助けを求めている児童のところへ行き、魔法の合い言葉“Do you like~?”と尋ねる。 ⑤ 助けてもらう児童は、“Yes I do. I like~.”又は“No I don't. I don't like~.”と答える。答えられたら、“Thank you.”とお礼を言って再び動き回り、次の相手を探す。 ⑥ 助ける相手がいない場合は、動き回れる児童同士で①のじゃんけんを行う。 ⑦ 何人を助けることができたか数えておく。 | |
| <p>マッチングカードゲーム (Matching card game)</p>  | <p>英語表現や英単語を用いてコミュニケーションを図れているか見ることができる。また、グルーピングをする際に活用できる。</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① 同じカードを持つ児童が6人いることを伝え、自分のカードを見せずに、同じカードを持つ6人の仲間を見つけるゲームであることを伝える。 ② 全員が他の人に見せないように絵カードを1枚ずつ持つ。 ③ 相手を見つけて“Hello!”とあいさつをした後、じゃんけんをする。 ④ 勝った方が、(猫のカードを持っていたら) “I like cats.”と言って、自分の絵カードを相手に伝える。 ⑤ 負けた方が、(猫のカードを持っていたら) “I like cats.”と言って、2人グループになる。違うカード(犬のカード)を持っていたら、“I like dogs.”と言って別れる。 ⑥ 次々と相手を見つけて、同じカードを持つ仲間を増やしていき、6人グループができたら、座る。 ⑦ 全員が着席した後、教師が各グループに “What do you have?”と尋ねて、グループ全員で “I have dogs.”と答える。 | <p>絵カード</p> |